

令和5年度 食育研修会の開催について

「未来の自分と次世代を担う子どもの健康へつなげるために～プレコンセプションケア～^{※1}」

本市では、子どもの未来を担う食生活を支える親世代に、早い段階から正しい情報を得て、健康的な生活を送ることが、将来の自分らしい生活と未来の子供たちの健康の可能性を広げることの周知と実践を目的として下記のとおり食育研修会を開催します。

記

1 背景

- 厚生労働省では、令和3年3月31日に改訂された「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」の解説概要において、若い女性は朝食の欠食割合が高いほか、エネルギー摂取量も少なく、低体重（やせ）の割合が高いという現状が報告されています。
- 浜松市の健康増進計画等の評価における健康調査（令和4年度）において、朝食を欠食する人（「1週間に2～3日食べる」及び「ほとんど食べない（週0～1日）」）の割合が、20～44歳の青年期・壮年期で、他の世代と比べて、20.4%と多くなっています。また、令和4年度朝食摂取状況調査報告書（教育委員会健康安全課）では、令和元年度より、小・中学生の朝食欠食率が増加しており、親となる若い世代の朝食の欠食率が影響している可能性があります。

2 日時 令和5年12月13日（水）午後1時30分～4時

3 対象 浜松市内保育園、幼稚園、こども園、小学校の栄養士、保育士、調理員、教諭、保健師等 100人程度

4 会場 浜北文化センター3階大会議室（住所：浜松市浜北区貴布祢291-1）

5 内容 講演：「未来の自分と次世代を担う子供の健康へつなげるために
～プレコンセプションケア～」
グループワーク：
「自分たちの現場からできるプレコンセプションケアを考える」

6 講師 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
周産期・母性診療センター母性内科 診療部長 荒田 尚子^{※2}氏

※1 プレコンセプションケアとは

若い男女が将来のライフプランを考えて、食事や運動などの日々の生活や健康に向き合うこと。次世代を担う子どもの健康にもつながる現在注目されているヘルスクエアです。

※2 1986年に広島で医師として歩み始め、翌年から東京にて糖尿病・内分泌・代謝を専門とする内科医としてキャリアを積み、2004年から現国立成育医療研究センターで成育医療に貢献してきました。2015年に日本初のプレコンセプションケアセンターを立ち上げ、本ケアの普及に努めています。